



はんしん あわじだいしんさい 阪神・淡路大震災のマグニチュード7.2は、どのくらいのエネルギーなの

げんしばくだん やく こぶん 原子爆弾の約67個分

じしん お
地震が起こったとき、マグニチュード5.4とか6.8、というようにほうどう
報道されます。マ
グニチュードというのは、じしん
地震そのものの、エネルギーの大きさを表す単位です。

じしん お ひじょう おお げんしばくだん なんぼつぶん
地震を起こすエネルギーは、非常に大きく、原子爆弾の何発分にあたるエネルギーなのか、
くら
比べられることがあります。

りつめいかんだいがく こくさいへいわ あんざいきょうじゅ ねん ひろしま お
立命館大学・国際平和ミュージアムの安齋教授によると、1945年、広島に落とされ
たげんしばくだん
原子爆弾は、マグニチュード6ぐらいの、エネルギーだということです。

マグニチュードが1増えると、エネルギーの強さは約32倍、2増えると約1000倍に
なる、といわれています。これにもとづいてけいさん
計算すると、ひょうごけんなんぶじしん
兵庫県南部地震(はんしん あわじだいしんさい
阪神・淡路大震災)
の、マグニチュード7.2は、ひろしま お
広島に落とされた原子爆弾の、約67個分になるそうです。

かんとうだいじしん げんしばくだん やく こぶん 関東大地震は、原子爆弾約749個分

ねん かんとうだいじしん かんとうだいしんさい
1923年の、関東大地震(関東大震災)のときは、マグニチュード7.9です。これは、
ひょうごけんなんぶじしん
兵庫県南部地震のときの、エネルギーの約11.2倍です。これを、ひろしま お
広島に落とされた、
げんしばくだん
原子爆弾のエネルギーになおすと、げんしばくだん こぶん
原子爆弾、749個分にあたるそうです。

かんとうだいじしん おお じしん
関東大地震が、いかに大きな地震だったかが、わかります。(監修・国司 真)

